

京都大学 高大連携 学びコーディネーター事業

令和7年11月11日

11月11日（火）の放課後、みだしの事業による出前授業を実施しました。

校内では「研究って何だろう？ そうだ、大学院生から直接学ぼう」という企画にして、京都大学 大学院 博士課程で研究されている2名の学生さんをお招きして、授業を行っていただき、希望者が参加しました。授業は次の2つです。

・「政治」と「忙しいわたしたち」の関わりー政治学入門

（京都大学 法学研究科 政治思想史専攻 藤原 いお さん）

・ネコの行動を遺伝子から解き明かしたい!～生物学から見たネコの魅力と遺伝解析入門～ （京都大学 理学研究科 生物科学専攻 岡本 優芽 さん）

藤原さんは、ヨーロッパの政治思想史の紹介から話を始められ、現代人に降りかかっている歴史的拘束性を理解するよう努めた上で、歴史家や思想史家の書籍を読んでも面白いのではと話されました。

岡本さんは、この研究を始めるに至った経緯を丁寧に説明され、ネコが「ゴロゴロ」のいう行動と遺伝子の塩基配列の長さの関係には関係があることを突き止め、これからは品種ごとや野生ネコを対象に研究していくと話されました。

お二人とも授業後は本校生の質問に丁寧に答えてくださいました。少しレベルが高かったかもしれないけれども、本校生、どこまでついていけたかな？

藤原さん、岡本さん、熱心に授業をしてくださりありがとうございました。これからの活躍をお祈りしております。



授業スライドにあった高校生へのメッセージより

- ・「好き」、「気になる」を大切に！
- ・研究のきっかけは思いがけないところにあたりするかも
- ・高校での勉強には、研究の知識が詰め込まれている（教科書と資料集、今も愛用しています）
- ・自分に合って、好きなことに打ち込める環境はとても楽しい♪